

特集

まちづくり懇談会

未来
未知
知
白
う
て

町民と町長が、未来のまちづくりについて意見交換を行う「まちづくり懇談会」が10月14日～11月7日の日程で開催された。この懇談会は、町が現在進めている取り組みの状況などについて説明を行い、理解を深めてもらうとともに、町民との対話を通して意見を聴き、今後の町政運営に反映させていくことを目的に、毎年開催されている。

今月の特集では、町からの報告事項や、参加者との懇談内容などについて、その一部を紹介する。





まちの課題や進めている取り組み

懇談会は、はじめに町長から現在町が進めている取り組みなどについての報告をし、町民との情報共有を行い、その後、「未来のまちづくり」について町民と町長が意見交換を行う。町からの報告内容は次のとおり。

①公共交通

10月1日から来年3月31日まで通院や子育て、買い物の実証運行を開始した。冬期間は降雪によるダイヤの乱れなどが考えられるが、安全運行に向け、理解と協力をお願いしたい。

②子育て支援

子ども子育て3法が公布・施行され、町では「幼保再編支援基本方針」を策定し、「認定こども園の整備」と「統合保育所の開設」を就学前児童の教育・保育環境整備の一義的な目的としている。老朽化した3つの保育所が一つの新しい保育所に、幼稚園は認定こども園に生まれ変わり、3歳未満児は保育所、3歳以上児は認定こども園で受け入れることを基本として、平成30年4月の統合保育所開設に向け、町と幼稚園が連携し幼保再編の構築に向け準備を進めている。

③観光振興

昨年度、二セコ観光圏（二セコ町・蘭越町・俱知安町）における経済波及効果の調査を実施した。その結果、同圏域における観光消費額は505億円、域内にもたらす生産波及効果は604・1億円と推計され、その生産波及効果により誘発される就業者数は8205人、雇用者数は6378人と推計された。

観光産業は、幅広い地域産業への経済効果と、多くの雇用を創出することから、観光の通年化に向けた取り組みが必要となる。

④北海道新幹線

新幹線開業を見据えた駅前通りのあり方については、昨年度に「新幹線まちづくり検討委員会」より「歩く楽しみを感じて集まり、にぎわい広がる駅前通り」をコンセプトとした中間報告を受けており、また、今年7月に駅周辺の高架化について認可を受けたことから、町では「中心市街地活性化基本計画」「新駅周辺整備構想」「都市計画マスタープラン」の3つの計画の改定に向けた検討を行い、今後のまちづくりを展開していく。

⑤農業振興

将来の担い手不足や、耕作放棄地の増加、農家戸数の減少による、集落機能弱体化への影響などを懸念しており、その対策としては、大小経営規模に応じた農業戦略が必要と考えている。

また、5月17日に「JETRO・羊蹄輸出協議会」を設立。地場産品の魅力発信強化と、輸出拡大を図る。

⑥学校教育

急速に進むグローバル化の中で、町では、その地域特性を活かし、国際感覚や語学力を備えた人材育成の観点から、英語力向上の取り組みを

推進していく。

【具体的な取り組み】

- 臨時教員の配置によるきめ細かな生徒指導体制などの整備
- 学習支援員の配置による個別指導を必要とする児童・生徒に対する学習面や生活面への支援体制充実
- 小中高英語連携事業の実施による英語力向上に向けた取り組み

⑦地産地消費推進施設（学校給食センター）

現在の学校給食センターが老朽化したことから、新たな施設の建設を行っており、平成29年4月の稼働に向け準備を進めている。

新たな施設では、設備の充実により温かく出来立てのごはんと汁物の同時提供が可能となり、これにより100軒俱知安産のお米を使用した、おいしいごはんを中心としたメニュー展開を予定している。



町民との意見交換

各会場における、懇談内容について一部を紹介する。

アパートなどのごみステーション設置義務について

【町民の声】

現在、新築も含め多くのアパートが建設されているが、住人が町内会にも未加入であり、ごみのルールも守らないので、困っている。

アパートなどのごみステーション設置を、義務付けられないか。

【町の回答】

町の条例では、8戸以上の場合、ごみステーションの設置を義務付けているところ。

町内会の加入促進についても、町内会連合会と協議し対策を検討している。

冬季オリンピック札幌招致に伴う倶知安町の地元負担について

【町民の声】

2026年の冬季オリンピックの札幌市招致に伴い、アルペン競技の会場が倶知安町となれば、地元負担も相当なものになるが、その場合の補助などはあるのか。

【町の回答】

冬季オリンピックについては、開催計画書を作成する中で、関係団体とも協議し、アルペン会場をニセコ町に決定した。

費用については、既存のコースは使用できないため、新設となる

が仮設か常設かで、補助の割合も変わる。札幌市とも協議しながら対応していきたい。

英語教育について

【町民の声】

地域の特性を活かした英語教育や、倶知安で育った子供が倶知安で働けるだけの英語能力を養うプログラムなどがあればと感じる。

【町の回答】

これからは実践的な英語力の習得が一層重要になると考えており、教員の指導能力なども含め英語力をどう養うかが課題。

英語検定などの資格取得に向けた補助など具体的な取り組みが求められていると感じている。

新幹線開業に向けた駅の規模や、周辺整備の計画などについて

【町民の声】

新幹線の開業に伴う倶知安駅の規模やルート、在来線をはじめ、今後について教えてほしい。

【町の回答】

駅の規模などは、まだ白紙の状態。荷物の大きい観光客の利用が予想されることから、ホームなど一定の広さが必要と考えている。

ルートの決定までは、まだ2年程度かかると考えられる。決定時には必ず説明会を実施する。

また、在来線については、沿線の自治体とも協議・検討中であり、その経費の試算をしているが、そ

れぞれについて、地域の声も聴きつつ対応していきたい。

観光と農業の連携について

【町民の声】

多くの外国人観光客が訪れており、外国の方は食の安全に関心が強いと聞く。農業を含め幅広い産業への波及効果を増大させるような取り組みはできないか。

【町の回答】

外国の方でも視覚的に認識しやすい統一したマークやシールを活用するといった方法もあると思う。

農業と観光の連携強化は必要であり、地産地消を掲げ、しっかりと取り組むべきと考えている。

いかに地域内で経済を高めていくかが今後の目標になっていく。

エゾシカなどの有害鳥獣による農業被害について

【町民の声】

最近、エゾシカが増えており、その対策に苦慮している。狩猟者も減少しているので、狩猟免許取得にかかる補助などを出せないか。

【町の回答】

有害鳥獣対策については電気柵の購入について補助をしている。

狩猟免許の取得経費への補助については、前向きに検討していきたい。

ひらふ坂交差点の渋滞について

【町民の声】

朝と夕方、ひらふ坂の交差点が渋滞で大変混雑する。早急に対策を取れないか。

【町の回答】

道路を管理する北海道と調整しながら検討し対応する。

*その後、町では関係機関と意見交換の場を持ち、交差点の渋滞解消について、短期的、中長期的な対応策の検討を行った中で、今冬からの解消に向け、それぞれの機関が、できる限りの短期的な取り組みや、調査を実施することとした。

まちの未来を語り合う